

もしも……の時に備えましょう!

point

1

非常時の役割を決めておきましょう

●情報を収集する人、持ち出し品の管理をする人など、災害時の役割を決めておきましょう

●家族で話し合しましょう

災害が発生した際の対応方法を家族で話し合しましょう。家族の役割や情報伝達の方法、学校や職場で災害が発生した時の対応方法など、家族で決めておきましょう。また、避難所の確認はもちろん、実際に避難所へ徒歩で行ってみましょう。がけやブロック塀、橋や側溝、マンホールの位置など危険な場所も確認しておきましょう。

●地域で助け合しましょう

いざと言う時には助け合えるのは近所の人たち。普段から近所づきあいを大切に、防災訓練などには誘い合って参加しましょう。

point

2

災害時の持ち出し品チェックをしておきましょう

災害時持ち出し品

チェック!



- 携帯用飲料水 (ペットボトル等)
- 食品 (カップめん、缶詰、レトルト食品、ドライフーズ、ビスケット、チョコレート等)
- ヘルメット、防災ずきん
- 軍手 (厚手の手袋)
- 懐中電灯
- 衣類 (セーター・ジャンパー類)
- 下着
- 毛布
- 懐中電灯
- 携帯電話、携帯ラジオ、予備の電池

- マッチ・ろうそく
- 使い捨てカイロ
- ウェットティッシュ
- 救急用品
(包帯、三角きん、消毒ガーゼ、きれいなタオル、ばんそうこう、体温計、傷口用の消毒液、常備薬「風薬、胃腸薬、痛み止め等」、はさみ、ピンセット等)
- 筆記用具 (ノート、鉛筆)

●小さな子どもがいる家庭

- ミルク
- 紙おむつ
- ほ乳びん

●非常持ち出し品は、年に一度は確認をして新しいものと交換しよう。

※上記の物品はあくまでも目安です。各個人によって必要な物品はかわってきますので、各個人に合った持ち出し品を準備するようにしましょう。

出典:総務省消防庁「わたしの防災サバイバル」手帳

point

3

もしも、災害が発生したら……

●最新の情報を収集しましょう

テレビ、ラジオ、インターネットなどで気象や避難指示等に関する最新の情報を確認しましょう。

●避難の指示に従いましょう

避難のときは、警察、消防、地元の防災責任者の指示に従って行動しましょう。

●避難の時に

避難の時は動きやすい格好で、2人以上で行動しましょう。出来るだけ浸水していない場所を歩き、川に近寄らないように避難しましょう。避難所に避難するよりも、自宅の2階以上や付近のビルに避難する方が安全な場合もあります。周囲の状況を見て避難しましょう。

私たちの生活の基盤である、川と道路の整備事業を行っています